

令和 3 年 11 月 29 日  
子 供 未 来 局

## 公立保育所のあり方検討部会の設置について

### 1. 現状について

本市における公立保育所は、地域における保育施策推進の核となる「地域拠点保育所」が 22 か所、地域拠点保育所以外が 11 か所（うち 1 か所は令和 5 年 4 月に民設民営方式による建替えを予定）となっている。

地域拠点保育所 (22 か所)	<b>【青葉】</b> 旭ヶ丘、荒巻、落合、国見、桜ヶ丘、支倉 <b>【宮城野】</b> 高砂、鶴ヶ谷第二、萩野町、東仙台 <b>【若林】</b> 沖野、蒲町、南小泉 <b>【太白】</b> 上野山、根岸、人來田、袋原、向山 <b>【泉】</b> 黒松、長命ヶ丘、鶴が丘、七北田
地域拠点保育所以外の 公立保育所 (11 か所)	<b>【青葉】</b> 折立、熊ヶ根 <b>【宮城野】</b> 鶴巻、福田町 <b>【若林】</b> 上飯田、木ノ下 <b>【太白】</b> 青山、飯田、太白、中田 (R5.4 民営化予定)、湯元

### 2. 検討部会の設置について

今後の保育をめぐる状況の変化や、保育需要量の減少等に適切に対応していくため、本市としての今後の公立保育所のあり方について検討を行う。

検討にあたっては、子ども・子育て会議に「公立保育所のあり方検討部会」を設置し、以下の 2 点の検討事項について、保育や地域子育て支援の現場の皆様からご意見を伺うこととしたい。

#### (検討事項 1) 地域拠点保育所において強化すべき機能について

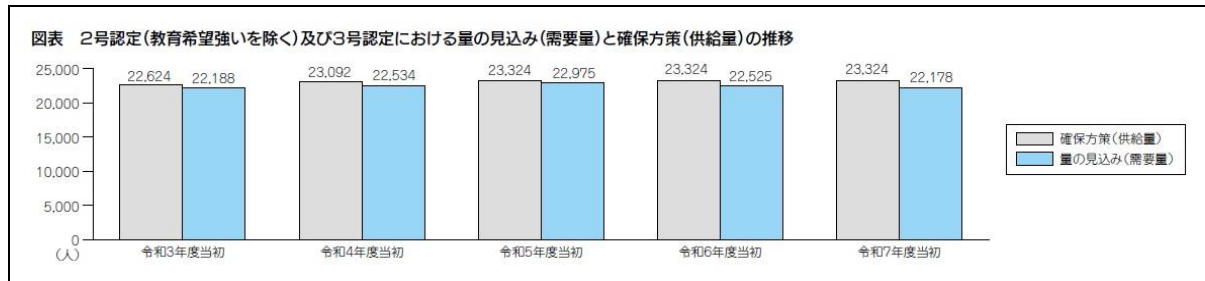
地域拠点保育所は主に以下の役割を担うこととし、モデル事業の実施を経て、令和 2 年度から本格的に事業展開している。地域拠点保育所が、引き続き公立保育所ならではの強みを活用しながらその役割を十分に担っていくため、その強化すべき機能について検討を行う。

##### 【地域拠点保育所の主な役割】

- ①地域における配慮を必要とする児童等への対応強化
- ②地域内の保育施設、子育て支援ボランティア等多様な担い手との交流・連携
- ③新設の保育所や経験の浅い経営主体が運営する保育所に対する相談・支援
- ④大規模災害時の情報伝達や物資搬送の中継拠点

## （検討事項２）地域拠点保育所以外の公立保育所の建替え等について

地域拠点保育所以外の保育所については、民設民営方式による建替え又は民間事業者への譲渡（移管）を基本に対応・検討を行っているが、令和５年度当初をピークに本市における保育需要が減少に転じると見込まれることや施設の老朽化が更に進行することも踏まえ、今後の対応策について改めて検討を行う。



出典：仙台市すこやか子育てプラン 2020

なお、「公立保育所のあり方検討部会」の運営に関して、運営要領を定めることとし（資料 1-2）、同部会の委員及び部会長については、仙台市子ども・子育て会議条例第 8 条第 2 項及び第 3 項に基づき、会長に指名頂くこととしたい。

## 3. スケジュール

- 令和 3 年 11 月下旬 第 1 回部会（現状と課題について、検討の方向性について）
- 令和 4 年 2 月上旬 第 2 回部会（対応の方向性について）
- 令和 4 年 2～3 月 検討結果に基づく関係団体等ヒアリング
- 令和 4 年 6 月上旬 子ども子育て会議（報告）
- 令和 4 年 7 月下旬 今後の公立保育所のあり方について公表

## 4. 取りまとめについて

今後の公立保育所のあり方について検討を行い、その結果をもとに、平成 26 年に公表した「今後の保育施策の推進について」（資料 1-2）の見直しを行う。

（見直しイメージ）

